

2022年度

ロシア語科・ロシア地域学科

1年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
☆	実用ロシア語会話	イリイナ・タチヤーナ	1
☆	実用ロシア語文法	デルカーチ・フョードル	2
☆	ロシア語演習	スレイメノヴァ・アイーダ	3
☆	ロシア語講読	鳥飼 やよい	4
☆	英語	鳥飼 やよい	5
	ロシア地理	スレイメノヴァ・アイーダ	6
	ロシア民族学	スレイメノヴァ・アイーダ	7
	ロシア文化史	デルカーチ・フョードル	8
	ロシア語コンピュータ環境入門	スレイメノヴァ・アイーダ	9
	体育	小林 礼	10
☆	ゼミナール貿易実務	渡辺 善行	11
	ゼミナール外国語としてのロシア語	イリイナ・タチヤーナ	12
☆	日ロ関係史	倉田 有佳	13
☆	法学入門	荒木 知恵	14
	論文作成	倉田 有佳	15

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期128時間（週4コマ）・後期80時間（週2コマ）総208時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシア語に馴染み、キリル文字の読み方と発音を学び、初歩的な会話ができるレベルを目指します。最終的にはテキストの内容を理解し、それについて会話をします。			
学習上の留意点			
授業は全てロシア語で行うが最初は英単語に似たなじみのある語彙を多用して授業を進めるので、ロシア語で授業を行うことに関して心配はない。			
評価方法			
テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～11	文字を覚える。発音の練習。
12～14	第1課 《家に》 テキストの内容を理解し、会話をする。
15～18	第2課 《まもなく夕食です》 疑問文について
19～26	第3課 《教室》 否定文について
29～40	第4課 《新聞と雑誌》／《私の家族》 形容詞と名詞の複数形の練習
41～62	第5課 《授業中》／《町の広場》／《家族の写真》 動詞の過去形
63～64	まとめ テスト
【後期】	
1～10	第6課 《アントノフの家について》／《アンドレイと彼の家族》
11～20	第7課 《私と私の家族》／《偉大なる海、聖なるバイカル湖》
21～35	第8課 《私の同僚が本を集めた方法》／彼らの生活についてももう少し》 《クセニヤさんと彼女の友達》
36～38	会 話 《電話での話し方》／《本屋で》／《キオスクで》
39～40	まとめ テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）, 書き方練習帳, 実用ロシア語発音教本	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期128時間（週4コマ）・後期160時間（週4コマ）総288時間		
授業概要・学習到達目標			
初級文法の規則とロシア語のパターンを習得。語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。			
学習上の留意点			
キリル文字の「読み」「書き」を学習初期で完全に習得する。基礎の習得のために復習をすること。補助教材を用い文法強化を図ること。一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。露和・和露辞書を利用する。			
評価方法			
小テストと期末試験のほかに、提出課題と出席率、授業態度等すべての項目を評価に含んだ総合結果から判定する。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～4	文字の読み方、日本語とロシア語の発音の違いと共通点。ロシア語アルファベットを覚える。
5～10	品詞の区分と疑問詞。「活動体」と「非活動体」。文法的な「性別」。男性名詞、女性名詞・中性名詞。職業を言う。「これはAで、あれはBです」。
11～15	母音の変化。複数形を作る。氏名のつくり。文字の合わせ方。民族と国籍。複数形の例外。まとめ、テスト
16～20	単語の仕組み「語根・接頭辞・接尾辞・語尾」。形容詞の仕組み。テキストの露訳・和訳
21～29	【人称代名詞】 ロシア語で「こ…」「そ…」「あ…」。所有代名詞。自己紹介、「どうぞ・ありがとうございます・どういたしまして」、「だって、…だもの」。「…と同じく」、「…のように」。
30～39	格変化とその役割。人称代名詞の格変化の作り方と使い方。まとめ。テスト
40～49	【前置格】 場所を言う。位置を表す動詞。名詞、形容詞の前置格（単数形・複数形）。文書を読んで、分析する。名詞の変化法。まとめ、テスト。
50～59	【動詞】 動詞の不定形と過去形。動詞の変化法。動詞の現在形。子音転換。「欲しい」と「したい」。二重動詞文型。命令形。まとめ、テスト。
60～64	予備、まとめ、テスト
【後期】	
1～3	前期の復習、テスト
4～30	【数と計算】 個数、年数、番号など。1から1000まで数える。月と日付。
31～50	【生格】 所有形と関連付け。「…から」。数量と生格。時間。「…のために」。否定生格。文書、会話。テスト。
51～69	【未来形と比較級】 「…していく」、「…するようになる」、「…するつもり」。「…より高い、…より強い」。文書、会話。テスト。
70～80	【対格】 男性と中性の対格形。対格とよく利用される動詞。曜日、期間、時点と予定時間を言う。テキスト、会話。まとめ、テスト。
教科書・参考書・資料・参考文献	
F・デルカーチ「一歩いっぽ文法・ゆっくり学ぶロシア語」（2021年）	

科目名	ロシア語演習	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期40時間（週1コマ）総72時間		
授業概要・学習到達目標			
教科書の内容に添ったCD教材の聞き取りにより授業を進める。ロシア語の音に体全体で慣れ、理論的にも理解できる事を目標とする。			
評価方法			
期末試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～3	ガイダンス／ロシア語の文字の書き方と発音の練習。第1～3課 疑問文・肯定文のイントネーション
4～6	第4～6課 ロシアのアルファベットの特徴、力点（アクセント）、筆記体の文字 《с》-《з》のペア《н》-《м》のペア；家族の名称。
7～9	第7～9課 会話の発音、難しい子音 《ц》, 《ш》, 《щ》, 《ж》, 《ч》という硬子音と 軟子音、職業名等
10～13	第9～12課 有声音と無声音の言い方、数字の練習
14～15	《д》-《т》のペア；聴解練習
16	復習。聴解テスト
【後期】	
1～3	復習。Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 4、第4課)；《ч》-《ть》のペア； 《чей》, 《чья》, 《чьё》, 《чи》の練習；疑問文のイントネーション；《уже》-《ещё не》の聴解練習
4～6	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 5、第5課)；《л》の使い方；聴解練習
7～9	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 6、第6課)；《б》-《п》のペア；《пе》-《пё》 -《пэ》の使い方；テキスト «Офис»（「事務局」）の聴解練習
10～12	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 7、第7課)；《в》-《ф》のペア；《в》-《во》 の前置詞の使い方；テキスト «Театр»（「劇場」）の聴解練習
13～15	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 8、第8課)；《р》の使い方；会話 «Обед» （「昼食」）の聴解練習；(урок 9、第9課)；《ч》-《ш》-《щ》；《р》-《рь》の使い方；
16～17	Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 9、第9課)；テキスト «Я не трудоголик» （「私は働きバチではない」）の聴解練習；(урок 10、第10課)；《к》-《п》-《х》；《за》-《зя》- 《зья》；《ва》-《вя》-《вья》の発音
18～19	Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1, урок 10、第10課)；複数の名詞の使い方 (《- ты》, 《-ки》, 《-ги》)；会話 «Во сколько наш поезд»（「電車は何時？」）の聴解練習
20	復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
F・デルカーチ「今日からロシア語で話せる・読める・書ける」付属CD、プリント随時配布	

科目名	ロシア語講読	担当教員	鳥飼やよい
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ）総40時間		
授業概要・学習到達目標			
既習のロシア語文法の基礎に裏付けされた文法読解の力を養う。学習の初段階から文の構造を見分け、分析的に読む習慣をつけることで文から最大限の情報を抽出できるようになる。また、動詞のアスペクトの問題に親しむことでロシア語独特の時間体系に触れることを目指す。黙読速度のスピードアップも目指す。			
評価方法			
各ストーリーの試訳と読了後の清書提出の課題、3話毎の小テスト、学期末試験の総合評価とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
週	内容
1	イントロダクション
2～3	第1話 Скоро первое сентября 「もうすぐ新学期」
4～5	第2話 Мама и футбол 「ママとサッカー」
6～7	第3話 Мать 「母」
8	テスト1
9～10	第4話 Гипноз 「催眠術」
11～12	第5話 Важный разговор 「大切な話」
13～14	第6話 Трудный экзамен 「難しい試験」
15	テスト2
16～17	第7話 Дом отдыха 「保養地」
18～19	第8話 Бабушка и Вовка 「祖母とボーフカ」
20	第9話 Вторая молодость 「第二の青春」
教科書・参考書・資料・参考文献	
S・コーネワ「実用ロシア語講読」、付属CD	

科目名	英語	担当教員	鳥飼やよい
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期80時間（週2コマ）総144時間		
授業概要・学習到達目標			
<p>外国語学習において input 無しに output はない。つまり、聞けない人は話せず、読めない人は書けないのである。また、学習のある段階においては、コントロールされたテキストの反復学習が重要である。これらの前提を踏まえ、英語のドラマを精聴し、日常的に話される英語を聞き取り、その書き取りを行うことで、学生は自然な英語の発音、抑揚を習得すると同時に、基本的な文法や構文を復習し口語表現を理解し学ぶ。</p>			
評価方法			
出席 10%、宿題 10%、オーラル課題 10%、各課のテスト 50%、学期末試験 20% 5 (88-100%)、4 (75-87%)、3 (60-74%)、不合格 (-60%)			

授業計画・内容			
前期		後期	
1	INTRODUCTION	1-5	LESSON6 “ACME”
2-6	LESSON 1 “AT THE AIRPORT”	6	LESSON 6 TEST
7	LESSON 1 TEST	7-11	LESSON 7 “THE PICKUP”
8-12	LESSON 2 “THE OREGON HOTEL”	12	LESSON 7 TEST
13	LESSON 2 TEST	13-17	LESSON 8 “A WILD CHASE”
14-18	LESSON 3 “DINNER TIME”	18	LESSON 8 TEST
19	LESSON 3 TEST	19-23	LESSON 9 “BACK AT THE HOTEL”
20-25	LESSON 4 “AN INTRUDER”	24	LESSON 9 TEST
26	LESSON 4 TEST	25-29	LESSON 10 “THE GANG”
27-31	LESSON 5 “THE PLANS”	30	LESSON 10 TEST
32	REVIEW FOR THE FINAL	31-35	LESSON 11 “INSIDE THE HOUSE”
		36-40	LESSON 12 “CLOSING THE CASE” , REVIEW FOR THE FINAL
教科書・参考書・資料・参考文献			
MISSING PERSON A RADIO PLAY Longman Intermediate Listening Series Book 1 Karen Hunter Anderson, CD			

科目名	ロシア地理	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）総32時間		
授業概要・学習到達目標			
この講義の目標は、ロシアの地図を素材として、地理学的な考え方を学ぶことである。ロシアは、北方に位置するユーラシア大陸国で、豊かな資源と激しい自然、ロシア人と非常に多い少数民族を含む多民族国家である。授業では、自然、資源、民族、文化、などのさまざまな面を扱うが、ロシアの中で気候や経済地域をみることで、新たな発見をしてほしい。			
評価方法			
小テスト、宿題（Google Forms等の課題）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。			

授業計画・内容	
1	イントロダクション
2	ロシアの概観：ロシア地理的地位、国土の面積、海岸線：主な海と湾
3	ロシア地理的条件1：地形条件：山地と平原
4	ロシア地理的条件2：主な河川と湖
5	ロシア地理的条件3：気候条件：気温と雨量、主な気候ゾーン
6	ロシア地理的条件4：土壌条件：チェルノジョム地とポドゾル地の分布
7	ロシア天然資源1-2：エネルギー資源、鉱物資源、埋蔵量と主な鉱床と鉱山
8	ロシア天然資源3：森林資源 針葉森林の分布と伐採量
9	ロシア天然資源5：海産資源 主な漁労地域と魚捕獲量の推移
10	ロシア天然資源4：水源：消費量と河川流量間アンバランス
11	ロシア人口1：人口の民族構成と宗教構造、民族問題と独立運動
12	ロシア人口2：人口の分布と平均密度、人口の社会移動
13	ロシア人口3：人口の移動 自然増加率：出生率と死亡率移動
14	ロシア人口4：人口ピラミッド 高齢化・少子化問題
15	ロシア人口5：労働力人口：職業人口と失業
16	ロシア人口6：大都市と地方都市、都市と村の問題
教科書・参考書・資料・参考文献	
配布プリントあり。その他にパワーポイント、Youtube 資料を使用。	

科目名	ロシア民族学	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	1 学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
授業ではロシアの民族文化に焦点をあてその文化の独特とヨーロッパ共通性を分析するとともに風土、生活、生産様式、言語、風俗習慣等を知ることを通して、ロシアの文化の基層的な類似性と独自性を明らかにする。			
評価方法			
小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	イントロダクション：民俗学・民族学とは何か
2～11	民族服装：①衣服の起原、②衣服の種類、③被り物、④履物、⑤甲冑
11～15	食文化：①食習慣、②肉食と魚食、穀物種とパン焼、③料理法と食料品保存 ④飲料；ミルクとお茶、クワス、ビールと蜂蜜酒、ウオトカとワイン
16	まとめ、復習。
【後期】	
1～4	伝統的生産：①畑を耕す、種蒔と穀物種、収穫を刈る、脱穀、穀物保存 ②鍛冶屋と農業道具、③家畜を飼う、蜜蜂を飼う、④漁業と狩猟
5～6	運搬具：①馬車、馬櫓、荷車 ②筏、舟、帆船
7～9	商い：①朝市と定期市場 ②店、売店、荒物屋と屑屋 ③貨幣と数量単位
10～13	人生儀礼：①出産と子供保育、②死と葬式と墓 ③結婚の形態 結婚と宗教、④結婚年齢と結婚式
14	農村社会と家族：①家族関係と相続方式、②年齢集団と若者組
16～19	年中行事：①時間と暦、②お正月、③クリスマス祭、火祭りと復活祭 ④多産と豊穰の祭
20	まとめ、復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	ロシア文化史	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	1 学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総理解をも学生に与える他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況などの文化的な背景を理解できる。			
評価方法			
中間テスト、期末試験、学年末試験			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	ガイダンス。	1-3	ロシアキリスト教の歴史
2	【入門】東洋の「文化」と西洋の「Cultus」。	4	キエフ・ロシアの建築
3	時間と空間における文化	5	ウラジミル時代の建築
4-5	文化の発生と進展原理	6	モスクワの建築
6	芸術／芸術の定義と分類。	7	ロシアのイコン絵画
7	文化史の科目	8	後期中世時代のロシア美術
8	ロシア文化史の概要	9-10	ピョートル1世とロシア文化
9-11	スラブ文化	11	ロシア帝国の都市建築
12	スラブとロシアの神話	12	新古典様式
13-14	スラブと霊界	13	19世紀初期のロシア建築
15-16	キリスト教	14	19世紀のモスクワ
		15	非宗教絵画の始まり
		16	イワノフとフェドトフ
		17	19世紀後期の文化
		18	1860年代の絵画
		19-20	19世紀終期の絵画
教科書・参考書・資料・参考文献			
教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、 随時配布プリント、スライド、ビデオ教材			

科目名	ロシア語コンピューター環境入門	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	1 学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ） 総32時間		
授業概要・学習到達目標			
<p>コンピュータ用語を理解すること。PC 本体の基本構造を分かること。あらゆる記憶装置（ディスク・メディア）を利用できること。Windows の組織を知り、使用できること。MSWORD を利用し、画像・表・グラフを含むドキュメントを作成できること。EXCEL と PowerPoint の基本操作をできること。</p>			
評価方法			
期末試験、小テスト、出席率を総合的に判断			

授業計画・内容	
1～4	<p>【ロシア語のキーボードレイアウト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語の文字で日本語表示をする基準。 ・間違いやすい文字。キリル文字入力練習。
5～12	<p>【ロシア語の入力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語の文書の複写練習。 ・ロシア語の句読点に入力規則。 ・一般的に利用される書体、行間、余白など。 ・日本語とロシア語を共に使うのに必要なコツ。 ・ロシア語でレポートを作成する基準。
13～15	<p>【ロシアのインターネットとコンピュータ用語】</p> <p>ロシアのインターネットとのコンピュータ用語 ロシアで最も人気のあるニュース、検索、情報のサイト・ソーシャルネットワーク ロシア語の情報を探す方法。</p>
16	まとめ、復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
<p>教科書はなし。 資料適宜配布。参考文献として「office ソフトで作る文書ドリル全55題」NOA 出版を用いる。</p>	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	2	体づくり運動⑤ 体力を高める運動 登山
3	体づくり運動② 体力を高める運動 縄跳び	3	球技 ①ゴール型 サッカー
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	4	球技 ②ゴール型 サッカー
5	器械体操 マット運動	5	球技 ③ゴール型 サッカー
6-9	球技 ①～③ネット型 バレーボール	6-7	器械運動 ①跳び箱
10-12	球技 ①～③ゴール型 バスケットボール	8-10	球技 ①ネット型 バレーボール
13-15	球技 ネット型 バトミントン	11	ダンス ①リズムダンス
16	実技試験	12	ダンス ②リズムダンス
		13	ダンス ③リズムダンス
		14	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
		15	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
		16	体づくり運動⑧ スケート
		17	体づくり運動⑨ スケート
		18	体づくり運動⑩ スケート
		19	まとめ
		20	実技試験
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	ゼミナール 貿易実務	担当教員	渡辺 善行
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）総32時間		
授業概要・学習到達到達目標			
貿易の成り立ち、国際ルール、貿易の手順、契約業務、物流と決済、リスク管理、物と資本の国際取引、ネット取引、貿易と規制、等についての概括を理解する。			
評価方法			
評価方法：出席（50%） アンケート提出（50%）による評価			

授業計画・内容	
1	講義の初めにあって、交易について、輸出入業務手順
2	自由貿易体制について
3	貿易の国際ルール、世界貿易の現状
4	海外市場調査、取引の流れ
5	取引例文、Business Letter
6	Business Letter 続き
7	貨物の受け渡し、貿易条件
8	提示価格とその成り立ち、前期アンケート
9	貿易管理制度、通関と関税
10	函館税関とコンテナヤード見学
11	外国為替と相場
12	為替リスクと代金決済
13	貿易決済手段、銀行の役割
14	貨物の輸送
15	輸送上の危険と海上保険
16	貿易の代金保険、紛争と解決、後期アンケート
教科書・参考書・資料・参考文献	
講師が各回パワーポイントを用意。	

科目名	ゼミナール 外国語としてのロシア語	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ）総40時間		
授業概要・学習到達到達目標			
簡単な映像を見て、理解できるレベルを目指す。またその映像のテーマをもとに習った語彙と文法を使って、質問事項にこたえられるようになる。			
評価方法			
期末試験、筆記テスト、出席率の総合で判断する。			

授業計画・内容	
【後期】	
1	ガイダンス
2～4	ビデオ：一緒に遊びましょう
5	復習、小テスト
6～8	ビデオ：紹介
9	復習、小テスト
10～12	ビデオ：公園で
13	復習、小テスト
14～16	ビデオ：僕の新しいおもちゃ
17	復習、小テスト
18～19	ビデオ：色の世界
20	復習、小テスト まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書は使用しない。 補助教材は、Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате, 2017г.	

科目名	日ロ関係史	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
函館は、日本とロシアの交流の発祥の地であり、現在もロシアとの交流が活発に行われているため、日ロ関係史を学ぶにあたり、前期は函館とロシアの交流史を学ぶ。それを踏まえた上で後期は、ロシアと日本（北海道）の関係、さらには日ロ（日ソ）関係に目を向け、過去と現在における人間と地域の諸問題を国際社会の多様な歴史的背景において考察できる能力を身に付けることを目標とする。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（20%）課題に対する提出物（10%）試験（40%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス、東洋学院から連邦大学まで
2-4	函館とロシアの交流
5	函館とロシアの交流の軌跡①：散策（山側）
6	函館とロシアの交流の軌跡②：散策（海側）
7	プレゼンテーション（GW宿題：自分の出身地とロシアとの関係）①
8	アニメ映画「幕末のスパシーボ」観賞
9	プレゼンテーション（GW宿題：自分の出身地とロシアとの関係）②
10	露領漁業と函館①（当時の映像を鑑賞）
11	露領漁業と函館②
12	函館とロシア語
13	ロシア（ソ連）と日本の自治体交流
14	新聞記事から読み解く最近のロシア極東との交流
15	復習
16	まとめ
【後期】	
1	江戸時代ロシアに漂着した日本人
2	江戸時代ロシアに漂着した日本人の漂流先でのコミュニケーション
3	樺太問題と日露交渉－日露雑居地樺太～樺太・千島交換条約締結へ
4	国境線の変動と樺太アイヌ・千島アイヌ・ロシア人・日本人①
5	国境線の変動と樺太アイヌ・千島アイヌ・ロシア人・日本人②
6	ニコラエフスクと函館（「亀田丸」の出貿易）
7	ニコラエフスクと日本人居留民
8	流刑の島サハリン
9	サハリン島に進出したロシア人漁業者たち
10	日露戦争とサハリン島
11	弘前のロシア人捕虜収容所
12	20世紀初頭のウラジオストク
13	20世紀初頭のウラジオストクにおける日本人居留民（映像鑑賞）
14	戦前函館に暮らしていた旧教徒
15	ロシアから日本への避難・亡命の歴史
16	来日ロシア人の文化的・社会的軌跡
17	日本領樺太時代の日ロ（ソ）関係（1905～1945年）
18	樺太からの引揚港となった函館
19	新聞報道から読み解く最近の日ロ関係
20	まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
適当な参考図書や論文を授業に合わせて説明する。	

科目名	法学入門	担当教員	荒木 知恵
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	前期（8週）		
時間数	前期16時間（全8回）総16時間		
授業概要・学習到達到達目標			
論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じうる法律問題について基礎的知識を身に着ける。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（20%）試験（30%）			

授業計画・内容	
1	オリエンテーション
2	憲法
3	民事法
4	民事法
5	民事法
6	刑事法
7	刑事法
8	筆記試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
なし	
各回、プリントを適宜配布する。	

科目名	論文作成	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第1学年
開講期	後期（10週）		
時間数	後期20時間（全10回） 総20時間		
授業概要・学習到達目標			
2年次以降のレポートや論文作成に必要な事項を1年次で身につけておく。具体的には、①レポートと論文の違いを学ぶ。②レポートや論文作成に必要な文献資料の検索や収集方法、序文・結語の書き方、註のつけ方などを学ぶ。			
評価方法			
出席（30%） レポート内容（70%）			

授業計画・内容	
【後期】	
1	レポートの書き方ガイダンス
2	学年レポートのテーマの検討
3	学年レポートのテーマ決定
4	論文作成のための先行文献・資料検索ガイダンスと実践
5	学年レポート作成
6	学年レポート作成
7	学年レポート作成
8	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）
9	ザチャット週間が始まる前の週の最終日にレポートをデータで提出
10	学年レポートの見直し・修正。完成。データで提出。
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブック、参考図書や論文など、論文指導の中で適宜紹介する。	